

12/20

問一 x

ウ

問二 y

イ

3/6 △

4

数年来の修業が、おろそかになってしまったこと

仙道の場合は（修行）とするのが適切。㊸

「この七十余年ばかり侍りて、ひとへに後世菩薩のことを管み侍る」（㊸）とあるところに着目して（長年の）と訳出する。

「ん」を推量（…だろう）または婉曲（…のような）意で訳出する。

△-1

4/6 △

2

大変気味の悪いものを見てしまったなあ

「見ゆ」を（人に見られる）意でとらえるので、「ものを」ではなく「ものに」と訳出しよう。㊸

「ここは、「目を見合わせ給ひたりければ」に続いているので、御息所が老法師に（見られ）たことを後悔しているところであって、（見られる）意で訳出する。

△-2

5/8 △

1 問二

思いのほか、効果があらわれる所があるというて参拝しなされた。

「このほか」の語義としてはこれも正しいが、ここではわざわざ参拝に行った理由となるよう（とりわけ）の意で訳出する。

△-1

「給ふ」を（…なさる）という尊敬の意で訳出する。

何の効果あるのか。（靈験）という点を明示する。

△-1

5/10

問四

寝ても寝られず、起きても落ち着かない気持ちを、御息所に助けてほしいと願っている。

どのように御息所に助けて貰いたいのかに踏み込んで説明する。㊸

老法師の自分への気持ちを聞いた御息所が、顔を上げて顔を見せたということから、顔を見せてもらうことで助けてほしい、と思ってることをつかむ。

△-3

△-2

△

3/8

問三

目通りを許されたと言う老法師が御息所の所にやってきたということ。

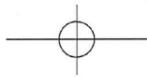
「見参」の語義としてはこれも正しいが、寺社に参詣する途中、「目を見合わせ給ひたりければ、いとむつかしきものにも見えぬかな」（㊸）とあることを踏まえ、（お目にかかる）ととらえて説明する。

△-4

※解答欄は裏面に続きます。

②谷折り

①山折り



32

5
2
3

問五

仏の道

一語で答えよう。

-1

老法師の「自分が浄土に生まれたなら、必ずあなたを導き申し上げましよう」という言葉を受け、「それならば〈まことの道〉の案内をして私を導きなさい」と御息所が返している。「まことの道」とは、〈真実の道、正しい道〉の意であり、ここでは〈仏の道、仏道〉を指す。

6
3
3

問六

老法師

〈合格への一手〉

内容説明問題に取り組む際には、現代文と同様、〈設問で問われていること〉〈指示語の指示内容〉を明らかにすることがまず必要になる。得点アップにむけて、「盛り込むべき要素を見極める」「制限時数や解答欄の大きさを踏まえて、簡潔に表現する」という二つの観点から、解答解説と添削指導をしっかりと見直しておこう。

